

ミャンマー最新状況（2026年6月15日現在）

今週号から、ミャンマーの状況だけでなく、弊社活動も織り交ぜてレポートします。

■なぜ今ミャンマーなのか

ミャンマーを取り巻く環境は決して容易ではありません。しかし、その一方でアジア各国における人件費上昇や人材不足が進む中、ミャンマーは依然として若年人口が多く、高い学習意欲を持つ人材を確保しやすい市場であり続けています。
特に日本語学習者数は東南アジアでも高い水準にあり、日本企業との親和性も高いことから、BPO、KPO、IT開発、バックオフィス業務などのアウトソーシング先として注目されています。現在は進出障壁が高まっているからこそ、現地ネットワークや運営ノウハウを持つ企業にとっては競争優位を確立しやすい環境とも言えます。

■ミャンマーBPO活用事例

近年、日本企業によるミャンマーBPO活用は、単純なデータ入力業務から高度なナレッジ業務へと広がっています。

主な活用事例

- ・会計記帳、請求書処理、経理補助業務
- ・給与計算、勤怠管理、人事データ管理
- ・CADリリース、図面作成支援
- ・ECサイト運営サポート
- ・SNS運用、コンテンツ制作
- ・AIアプリケーション業務
- ・市場調査、リサーチ業務
- ・翻訳、通訳サポート
- ・システム開発、テスト業務

特に近年は、単純作業だけでなく、日本語対応が可能なホワイトカラー人材を活用したKPO領域への需要が増加しています。

■日本企業が直面する誤解と実態

「ミャンマーは危険だから事業ができない」これは最も多い誤解の一つです。
確かに政治・経済面でのリスクは存在しますが、ヤンゴンを中心とした商業エリアでは多くの企業が継続的に事業を運営しています。
重要なのは、リスクが存在しないことではなく、リスクを正しく把握し管理することです。

電力不足であれば自家発電や蓄電池を準備する。
通信障害であれば複数回線を確保する。
制度変更であれば現地ネットワークを通じて情報収集を行う。

このような対応を前提とすることで、事業継続は十分可能です。

■ACSが実施しているリスク対策

当社はミャンマー進出から10年以上にわたり、様々な環境変化を経験しながら事業を継続しています。

現在は以下の対策を実施しています。

- ・自家発電設備および燃料備蓄の確保
 - ・蓄電池、UPSの導入
 - ・複数通信回線による冗長化
 - ・VPNを活用した安定した通信環境の確保
 - ・クラウドとローカル双方でのデータバックアップ
 - ・日本・ミャンマー双方による管理体制
 - ・制度変更情報の継続的モニタリング
 - ・現地専門家および関係機関との連携
- こうした対策により、現在も継続的にサービス提供を行っています。

■ミャンマー人材の魅力

ミャンマー人材の最大の特徴は、学習意欲の高さと日本文化への親和性です。

- ・真面目で責任感が強い
- ・離職率が比較的低い
- ・日本語学習意欲が高い
- ・新しい業務への適応力が高い
- ・チームワークを重視する文化を持つ

また、近年ではIT、会計、デザイン、デジタルマーケティングなど専門スキルを持つ人材も増加しています。
単なる低コスト人材ではなく、日本企業の業務品質向上に貢献できる人材層が形成されつつあります。

■2026年後半の見通し

2026年後半においても、電力不足、通信規制、外貨管理、海外就労規制などの課題は継続すると考えられます。
一方で、企業や市民による太陽光発電・蓄電池導入は拡大しており、民間レベルでのインフラ対応は進んでいます。
また、海外就労規制の影響により国内に留まる若年層も増えており、国内雇用市場における人材供給は一定程度維持される可能性があります。
短期的には不安定要素が残るものの、中長期的には優秀な若年人材とコスト競争力を活用できる市場としての魅力は継続すると考えられます。

■総括

現在のミャンマーは、リスクが存在しない市場ではありません。しかし、そのリスクは既に多くが顕在化しており、適切な対策を講じることで管理可能なリスクへと変化しています。
前身含め、当社も10年以上にわたり現地で事業を継続しており、現地ネットワークと運営ノウハウを活用しながら安定したサービス提供を続けています。
今後も制度変更や事業環境の変化を注視しながら、ミャンマーの持つ優秀な人材とコスト競争力を活かしたアウトソーシングサービスを提供してまいります。

カテゴリ	トピックス
ミャンマーへの 入国方法	直行便の再開は限定的で、タイ（バンコク）経由が一般的。e-visaの申請は稼働していますが、祝祭日や情勢により審査期間が変動するため、 渡航の3週間前には申請を完了させることを強く推奨します。 e-Visa申請URL https://evisa.molip.gov.mm e-Visa費用について https://myanmarcgla.org/index.php/visa/e-visa
インターネット	固定回線は、停電とメンテナンス不足により断続的に遮断されます。コストはインフレの影響で上昇傾向にあり、100Mbpsで約100,000MMK/月 （税込み 15%）程度が目安です。
SNS	Facebook、Instagram、Xへの通常接続は不可。VPN利用に対する取り締まりや技術的制限が強化されており、一部の無料VPNは接続できません。 ビジネス利用でも通信環境の確保が最優先課題です。
電話	キャリア ooredoo：通話、データ共に利用可能 MPT：通話、データ共に利用可能 mytel：通話、データ共に利用可能 ATOM：通話、データ共に利用可能 各キャリア共に利用可能ですが、燃料不足で基地局の発電機が止まることもあり、夕方から夜間の通話・データ品質が著しく低下します。
電気代	一般家庭は2020年当時20,000MMK程度の電気代が、ローテーション停電にかかわらず、現在約100,000MMK近辺となっています。
電気事情	弊社のあるMayangone（マヤンゴン）地区の輪番停電中、夜間の停電は現在なく、昼間の停電が無い日が続いています。 ローテーション停電については、①5:00～9:00、13:00～17:00 ②9:00～13:00 ①、②の繰り返しです。
ガソリン	ディーゼル：3,995 プレミアムディーゼル：4,800 レギュラー（92RON）：3,880 ハイオク(95RON)：3,915 ※1リットル当たり 単位:MMK（25年6月15日現在）燃料価格は落ち着きを取り戻し、2週連続で下落しています。 ただし、ガソリンスタンドによっては、上記価格は「政府統制後」の価格のため、給油の際に上記単価より上乗せされた単価を言われることもあるとのこと。 まだ、闇販売業者（ディーゼル 11,000～12,000MMK/Lが相場）も横行しています。

